

スマホ・アプリを利用した熊本都心部回遊調査/今年度の実施体制ならびに行事予定のご報告

1. スマホ・アプリを利用した熊本都心部回遊調査

都市中心部の活力の衰退は、地方都市が共通して抱える課題といえる。その活性化に向けた施策の検討のためには、人の回遊行動データの取得と分析が有効である。

従来、回遊行動の調査法としては、1) 来街者への紙面を利用したインタビュー調査、2) GPS 機器などを貸与する調査が一般的であった。ただ、1) の方法では、記憶に頼るため詳細なデータの把握が困難、2) の方法では、大量のサンプル取得が困難という課題があった。これらの課題に対し、来街者のスマートフォン（スマホ）のGPS機能を使用する専用のアプリを利用することで、来街者の詳細な回遊データを大規模サンプルで取得する調査システムが構築できる。

熊本都心部において、この調査システムを利用した回遊調査（「くまもとまち歩き調査」と呼ぶ）が、2013年11月23日から12月8日までの週末計6日間に実施された。この調査は、熊本県都市計画課、熊本市都市政策課、及び熊本大学の研究グループの3者が共同調査主体である。また、2012年度に本体調査が実施された熊本都市圏パーソントリップ調査の補完調査として位置づけられている。

調査参加者の募集方法としては、1) 事前登録型と2) 当日登録型の2種類がある。1) はポスターやチラシで来街の前にアプリを自分のスマホにインストールする。2) は、調査当日の来街者に対して、都心部の駐車場、駐輪場、バス停、市電の電停などで学生（20人/日程度）が調査依頼を行い、その場でアプリをインストールする。

アプリは、基本的に移動軌跡と加速度情報を取得する単純なもので、回遊終了後に、調査ポートに立ち寄ってもらい、簡単なアンケートへの回答を依頼し、最後に謝礼（都心部の商品券500円分）を渡す仕組みである。6日間合計で1,086人の調査参加者のデータを取得している。個人属性、来街交通手段による回遊行動の変化などの分析を現在進めている。

（文責：円山 琢也（熊本大学））



写真-1 熊本都心部回遊調査の風景

2. 今年度の実施体制ならびに行事予定

平成26年度第2回 日本都市計画学会九州支部幹事会を6/13（金）に福岡市内にて開催し、今年度の役割分担ならびに行事予定を表-1のように決定いたしました。

表-1 今年度の九州支部の役割分担

項目	担当	内容
支部主催シンポジウム	外井、吉武、柴田、眞浦	・ 時宜を得たテーマを選定 ・ 他支部との連携活動
都市計画サロン	外井、松永、永村、内田（智）	サロンの企画、運営
新規研究分科会	堤、日暮	・ 募集ならびに決定の補助
支部ニュース	寺町、大枝、趙、眞浦	・ 年4回発行する
支部だより	嶋本、姫野	・ 九州支部活動及び九州の地域情報の発信
ホームページ	永村、外井、松永	・ ホームページの維持、更新 ・ 会員への情報提供サービスの強化
CPD	内田（智）	・ CPDに関する情報の一元化及び認定申請への対応
支部長賞	永村	・ 支部長賞の募集ならびに決定・授与の補助
支部報告会（ポスターセッション）	大枝、小林、吉城	・ 支部報告会の実施と改善
支部活動の検討	吉武、外井、日高、内田（智）	・ 都市計画分野の新人研修 ・ その他
中四国支部連携	外井、坂井、橋本	・ 中四国支部との連携事業の検討
支部情報担当	有馬	・ web会議にて、支部の意見や支部HPとのリンクのあり方を報告
事務局運営	外井、吉武、永村、内田（智）	・ 支部幹事会等の運営 ・ 会計
Who's who	辰巳	・ 学会会員の業績リストデータベースの維持
まちづくり賞	趙、橋本	・ 募集ならびに決定の補助

また、今年度の幹事会および都市計画サロンを以下の日程で行うことも確認いたしました。

- ・ 第3回幹事会 + 都市計画サロン : 7/18（金）
- ・ 第4回幹事会 + 都市計画サロン : 10/17（金）
- ・ 第5回幹事会 + 都市計画サロン : 12/19（金）
- ・ 第6回幹事会 + 都市計画サロン : 2/6（金）

（文責：幹事 嶋本 寛（宮崎大学））